

次号予告

特集 PFI—民間の資金と創意工夫を生かした公共サービス—

PFIとは (PFIのインフラ整備における意義)……………	西野文雄 (政策研究大学院大学)
PFIの経済学的考察—インセンティブの観点から— ……	赤井伸郎 (神戸商科大学)
PFIと公共事業マネジメント ……	美原 融 (三井物産戦略研究所)
日本版PFIのBest Practice構築に向けて ……	山下明男 (日本政策投資銀行)
PFIの課題と今後 ……	田浦裕久 (比較法研究センター)

編集後記

●2002年プロ野球セントラルリーグでは巨人優勝が決まった。その日、巨人は阪神を相手に延長12回サヨナラ負けであったが、ヤクルトが敗れたため優勝した。フジテレビは延長に延長を重ね、4時間20分に及ぶロングラン中継を実施した。Yahooニュースによると、平均視聴率は29.1%・瞬間最高42.9%と、今季巨人戦で最高(関東地区)をマークした。一方、ドラマ「ナースのお仕事4」ファンは抗議した。「優勝が決まったのにいつまで放送するのか」「ドラマを再放送して欲しい」等1万4千件を超える苦情電話がフジテレビに殺到した。

●20世紀は通信(Communication)のデジタル化によりコンピュータ(Computer)分野と通信分野が同一のマーケットで競合し・協調してきた。情報通信はC&Cが融合した分野である。21世紀は放送(Broadcast)がデジタル化され、新たなB&C&C時代を迎える。巨人ファンとドラマファンのミスマッチはこの時代には考えにくい。広帯域サービスのインフラは整備され、液晶3D大画面あるいはノートパ

ソコン上で、見たい時に好みのドラマをダウンロードして観賞すればよい。テレビ局はバブリーな広告料収入は当てに出来ず、有料コンテンツをインターネット配信するサイトになっているかもしれないし、コンテンツ制作会社になっているかもしれない。

●閑話休題、1年ほど前にアフガニスタンの空爆があり、哀しい映像が各世帯に届けられた。テレビ局の記者・撮影班は同国から退去を余儀なくされたが、日本テレビではアフガニスタン在住のカメラマン氏と契約し、現地映像がインターネットにより配信された。放送・中継現場では、情報通信と放送の現行レベルでの技術的融合が既に行われている。

●今月号の特集テーマは情報通信と放送の融合である。オーガナイザーを前郵政省電気通信審議会経済部会専門委員の中村清先生にお願いした。中村先生は政治・経済・法律・技術各方面でご活躍の方々を特集論文著者として選ばれた。OR学会諸兄姉が、本特集号を機に、情報通信・放送分野を卑近なものと感じられれば、編集委員として幸せである。(高橋敬隆)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 上田 徹(成蹊大学) 副委員長 高橋敬隆(早稲田大学)

委員 池上敦子(成蹊大学)、大澤義明(筑波大学)、大屋隆生(財電力中央研究所)、小沢利久(駒澤大学)、杉野隆(国士館大学)、高橋一喜(東京ガス㈱)、中川慶一郎(㈱NTTデータ)、中川義之(㈱住友金属システムソリューションズ)、生田目崇(専修大学)、難波和明(東京理科大学)、原 裕淳(東芝ITソリューション㈱)、平山克己(北九州市立大学)、松村良平(東京工業大学)、三浦英俊(明海大学)、矢田 健(日本電信電話㈱)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成14年11月号 第47巻 第11号 通巻503号

代表者 小笠原 暁

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 上田 徹

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価970円(本体924円)年間予約購読料11,040円(税含)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)へ